

佐賀県協情報

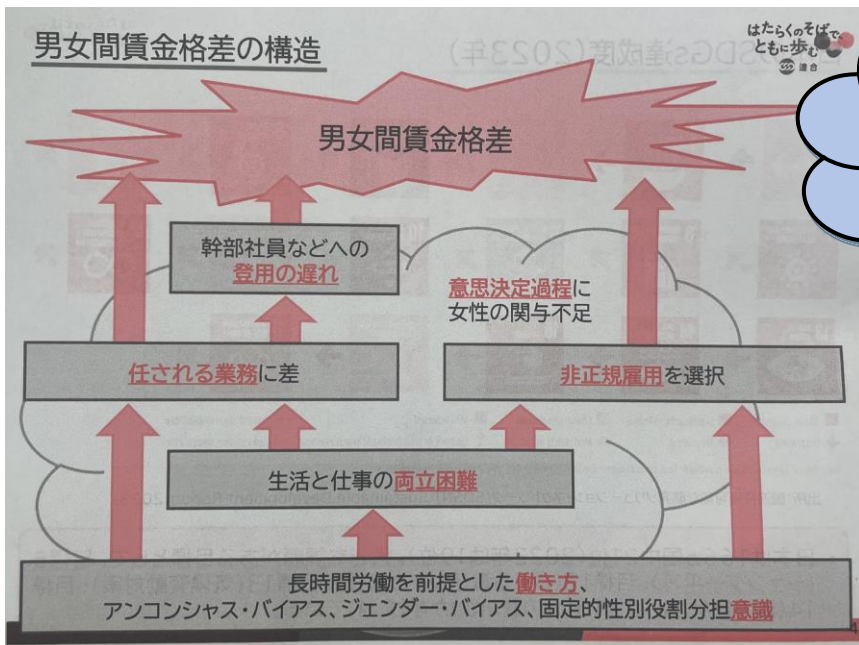
連合佐賀ジェンダー平等・多様性推進セミナー

ジェンダー平等の社会を職場から実現しよう

連合佐賀は、6月の男女平等月間に合わせ、6月15日に佐賀市内で「ジェンダー平等・多様性推進セミナー」を開催し、佐賀県協からは吉田春菜議長が参加しました。

セミナーでは連合総合政策推進局の小原成朗局長から、昨今のジェンダー平等・多様性推進に関する現状について報告があり、その後合同会社ヨハクデザインの西田明紀代表から「企業のダイバーシティ(多様性)推進の必要性」と題した講演が行われました。

多様な人材が活躍できる社会にするためには、まず私たち一人ひとりが、無意識のうちに先入観を持って相手を決めつけたりその延長で発言してはいないか、と立ち止まって考えてみるのが重要です。同時に、各種制度や風土の改革を行って、マネジメントのあり方も考えていく必要があると学びました。



連合総合政策推進局の資料より

男女間の賃金格差もなくして
いかなければいけない課題だね。
同じ年齢なのに男性と女性で
賃金平均が違ってくるのは
どうしてだろう？



アンコンシャスバイアス(無意識な先入観)を持っていませんか？

- 例えば・・・年齢「あの人は私より年下だから人生の経験不足。だから私のほうが正しいだろう」
- 性別「あの人は男性だから女性ばかりのチームのリーダーになるのは難しいだろう」
- 身体的特徴「あの人は痩せていて背も低い。体力のある仕事を任せたら可哀想だろう」
- 価値観「あの人は家庭的なことをアピールしているから、仕事への熱意は薄いだろう」